

第55回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 平成30年1月19日(金) 14時00分から 16時10分

・場所 宇部市ときわ湖水ホール ミーティングルーム

・出席委員

(会長) 関 根 雅 彦	
笠 井 邦 雄	鈴 木 春 菜
渡 壁 正 英	松 重 啓 子
前 原 佳 子	河 村 竜 太
三 戸 利 満	茂 山 守
森 田 律 子	中 島 由 加 利
井 関 祐 子	小 松 宗 人

・欠席委員

城 田 久 岳	藤 本 米 子
平 岡 幸 子	

・事務局

市民環境部長	石 部 隆
市民環境部次長	秋 田 浩 二
廃棄物対策課長	上 田 康 次 郎
環境保全センター施設課長	長 岡 哲 雄
地域エネルギー・バイオマス産業都市推進室長補佐	片 岡 英 文
廃棄物対策課長補佐	常 西 智 康
廃棄物対策課資源循環推進係長	河 村 真 彦
廃棄物対策課資源循環推進係主任	芝 田 徹
廃棄物対策課資源循環推進係	大 田 翔 子

・資料

- 1-1 平成28年度総括表
- 1-2 平成28年度ごみ排出量の内訳表等
- 2 平成29年度の事業報告
- 3 食品リサイクルループの推進に向けた取組の進捗状況報告
- 4 【追加資料】平成29年度総括表(12月末までのデータ)

・次第・議事録

- 1 市民環境部長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1)平成29年度の事業報告について
 - (2)食品リサイクルループの進捗状況について

4 その他

- ・全国市区町村ごみ処理状況データから見た宇部市の一般廃棄物削減可能性
(山口大学関根研究室から報告)

会長	本日の議題は、「平成29年度の事業報告」と「食品リサイクルループの進捗状況」についてです。それでは、まず「平成29年度の事業報告」について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1-1「平成28年度総括表」、資料1-2「平成28年度ごみ排出量の内訳表等」、追加資料「平成29年度総括表」、資料2「平成29年度の事業報告」により説明
会長	ありがとうございました。今の説明に対してご質問はございますか。
委員	資料1-1の数字について、(注)に平成28年度のご紙に関して資源ごみ拠点回収分を除くとあるのですが、資源ごみ拠点回収分はどこに計上されているのですか。
事務局	資源ごみ拠点回収施設のご紙は、業者が回収し、直接古紙問屋へ持っていくという実態がありまして、計上していないということになります。
委員	20年くらい前に、電池はドラム缶で集めて北海道で貯蔵して処理すると聞いたのですが、今はどうなっているのですか。
事務局	電池は、毎年入札で処理業者を決めており、現在は岡山県倉敷の製鉄メーカーがリサイクルしています。
委員	紙ごみが増加しているとありましたが、紙おむつ等が原因ではないかと思しますので、増加するのは当たり前だと考えなくてははいけません。また、古着古布や絵本の回収量が減少したとありますが、これは一度出すと出すものが無くなってくるものなので、あまり気にすることではないと思います。そして、段ボールコンポストは労多くして功なしだと思います。そこで、生ごみを大量に消化するには、バイオマス発電の整備に期待を持っていますが、分別の苦勞、人件費、機械の腐食等の話を聞くので、よく考えてもらいたい。 最後に、この審議会にいる人が段ボールコンポストや分別を家庭できちんとやられているのか、この会議に出るたびに思うのであります。
会長	現実的なありがたい意見をいただきました。事務局からなにかありますか。では、次に食品リサイクルループの進捗状況について、お願いします。

事務局	資料2「食品リサイクルループの推進に向けた取組の進捗状況報告」により説明。
委員	採算の取れる見通しがあるのでしょうか。
事務局	プラントにかかる金額が高い。国からバイオマス産業都市に認定していただいたので、国の補助金等を駆使してプラントを作っていきたいと思っています。
委員	私は、業者さんがある程度プラスにならないと、こういうものは続かないと思います。補助があろうと赤字では続かないのでは。
事務局	産業都市ということで、儲かる仕組みづくりも大切だと思います。
委員	<p>バイオマス発電は良い所ばかり言われているが、地球温暖化防止にそれほど寄与しないのではないかと。実際は発電するときに燃やしているので、炭酸ガスが出るんですね。しかし、その点を勘違いしている人もいます。</p> <p>また、萩だと思うのですが、生ごみとその他の燃やせるごみを機械分別する施設に見学に行きました。宇部市も調べてみる必要があるのではないのでしょうか。安く分別できるかもしれない。最後に、液肥について、分析結果が載っているものがないので、データがあれば、教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>機械選別については、お金をかければできますが、バイオマスはいかに排出者の協力を得てできるか、というところが採算ベースに乗るか乗らないか、分かれるところになります。</p> <p>液肥のことについて、多くの所では糞尿を入れていますが、宇部市は食品残渣のみで行っているため、成分の偏りがあります。また、化学肥料に比べると薄いということもあります。液肥もしっかり使うことがコストにかかわってきますので、液肥も含めてトータルで採算性が取れるかどうか、現在詰めているところです。</p>
会長	<p>初めにおっしゃった二酸化炭素の話も、元が化石燃料でなければ化石燃料を燃やすのとは少し違います。</p> <p>では、5分休憩したのち、学生が発表をし、議論という流れでいきます。</p>
学生	「全国市区町村ごみ処理状況データから見た宇部市の一般廃棄物削減可能性」スライドを用いて説明。
会長	<p>良く発表してくれました。要は、宇部市は事業系のごみが全国的に見て、すごく多いということですね。数字マジックを考慮しても、多い。ここで今まで議論してきたことの多くは、段ボールコンポストなどで、市民が頑張りましょうということがあったのですが、市民は標準以上にやっけて、やはり事業系をどうにかしないといけない。事業系に手をつけようとされているのは、正しいわけです。また、宿泊業や飲食サービス業が廃棄量に大きく影響するというので、食品廃棄物でバイオマス発電</p>

	<p>をしようとしているのは正しい方策であると思います。しかし、そもそも食品廃棄物を出さないということも併せてやらなければ、いつ実現するかわからないバイオマス発電を座して待っているだけではいけないのかなと思います。</p> <p>では、あとの時間は、全体を通してご質問ご意見をいただけたらなと思います。</p>
委員	<p>宇部市のごみをどう減らすかという審議会ということで、具体的にどうすればいいのかというと、二つあると思います。一つは、総排出量、ごみを減らすこと、もう一つは、リサイクルすることです。まず、ごみを減らすことについてですが、学生服リユースなど色々やられているようですが、総排出量を考えると、ほんの数%だと思います。ごみの中でウエイトを占めているのは、生ごみなんですね。生ごみを減らすためにバイオをしようということなんですが、これで900g、800gは不可能だと思います。このためにやれることと言えば、市民が負担することです。今、家庭ごみは減っていると言われていますが、私はそのような実感がありません。アパートやマンションのごみが事業系ごみに移行しているだけではないかと思います。そして、もっと燃やせるごみを減らすには、月一回のごみステーションに分別する項目を増やしていただくと、ごみの減量につながると思います。たとえば、小型家電も分ける、油もペットボトルに入れてステーションに出す、などすれば、車を持っていない人もリサイクルに協力しやすくなり、減量につながると思います。</p> <p>段ボールコンポストもやっていますが、これは5万tのごみのほんの一部であり、市民の3分の1がやるとどうなるかという試算もしましたが、不可能な計画だなと、本当にごみの減量につながる案をこの審議会で提案できればなと思います。</p>
会長	<p>分別するところを見えるところに設置したら、市民がもっと協力してくれるのではないかという現実的、具体的な意見をいただきました。何か他にありますか。</p>
事務局	<p>新年度事業で展開していこうとしているものの中に、ごみステーションを整備するというものがあります。市内には、様々な大きさ、形のステーションがありますが、ごみを出しやすいようにきれいにしていこうという新たな事業です。これは、環衛連がチャレンジされていた後を継いで市でもやっっていこうということで、分別に少しでも支援ということでやろうとしています。</p>
会長	<p>分別の項目も増やせという意見もありましたが</p>
事務局	<p>はい。組成分析結果で全体の可燃物の中で40%が紙類、厨芥類は26~28%となっております。今の紙製容器包装というのにいかに分別してリサイクルに回していくのか、というのが非常に大切なのですが、これについては、受け入れる側の体制というのも絡んできます。その辺もしっかり整備しながら紙ごみ40%をリサイクルしていくと。そして、紙類に紙おむつがたくさん入っているということで、これについても、ユニチャームというメーカーさんと現在紙おむつからバージンパルプという再生の研究をしております。また、リサイクルせずに燃料として使う、これについても宇部興産が</p>

	<p>地元であり、焼却能力もかなり持っているので、そういったところとの兼ね合い、いろんな方向性を宇部市の方で考えています。来週、新聞報道等あると思うのですが、積水化学がほぼ分別せずにごみを分子構造まで分解できるという技術も生まれています。また、言い忘れましたが、山口大学と共同で紙からエタノールという研究もしております。そういう中で、様々なバイオマス系で活用していくということを検討しながら、色々とやっているのですが採算ベースに乗っていないというのが現状です。いずれにしても、分別が入口であるということで皆様のご協力をいただきたいという話は変わらないかなと思います。</p>
会長	<p>分別が入口というのはそうなのですが、資源ごみ、分別をどれだけ増やせるかというのもあると思うのですよ。大口から攻めていくとなると事業系という話になるのですが、ただコストをかけないで市民が努力すればできるということであれば、推進すべきであり、区分を増やして市民が分けるということができるとなれば、すぐ取りかかれることなので、その先がどうだという話もあるのですが、真剣に考えるべきことだと思います。</p>
委員	<p>生ごみの 8 割が水分ということで、バイオマス等言っておりますが、市民が一絞りすれば、相当なコストダウンになるんですね。市民の人が、どうすれば生ごみを絞ってくれるかということを我々が考え、やっていければ、お金のかかることではないので、是非やっていただきたい。これを審議することが一番大切だと思います。</p>
会長	<p>まず、今日出た話で、一つは、段ボールコンポストはもういいんじゃないかという話が複数出ました。そのことも真剣に考えるべきだと思います。生ごみを絞ることに関しては、気持ち悪いという意見があります。ただ、生ごみ絞り機という製品もありますよね、そういう手立てを工夫していくというのは十分やっていくべきことかなと思います。</p>
委員	<p>以前、生ごみ絞り機をいただき使ってみました。手で絞る方が簡単だったのでごみとして捨てました。だから、結局は意識の問題です。それと、若い人はやらないといいますが、私のような年寄りには、時間もたっぷりあるので分別も水切りもしますが、働いている人にそういうことを要求するのは大変だと思います。</p>
会長	<p>結局は、広報というか、どうやって知らせるかというそういう観点でどうすれば、末端まで伝わるかということですね。</p>
委員	<p>リサイクルプラザで案内をしていて、生ごみの水分を飛ばすために燃料を使っていると知らない人がほとんどです。乾かす補助燃料でどれだけお金がかかっているのかというのを市民にアピールすると、もう少し水分を絞る方が増えるのではないかと思います。というのも、汚れたプラスチックごみのせいで、2億円かかるのをどうにかしてくれと市役所の方が自治会に言って、徹底されるのに 1 年かからなかった。なの</p>

	で、市役所はもっと補助燃料でどれだけの税金が使われているかアピールすればと思います。
事務局	今、補助燃料は4000万円強かかっています。
会長	まず、本当に効果のある広報の仕方を考えるとなると大変だと思うのだけれども、みんなに伝えるだけならば、市報とかがありますよね。せめて、せっかく議論しているのだから、議論したことを市報に出しましたということが翌年報告できるようにしましょうよ、という話は何年か前にしていますよね。
委員	市報、回覧というのは、本当に見ないんですよ。とりあえず早く回せという感じで。サンデーうべとか、ポストなんか…など、そういうものの方が見るみたい。そういうところにもちょっとお金を使っただけならなと思います。
委員	行政側はやっていますと、でも市民側は全然やっていないと、これだけギャップがあるから、そこは予算をとって、プラごみの時は、宇部日報の一面に出たんですよ。水切りの件に関して徹底的にやってほしい。レジ袋有料化やペットボトルのラベルの件などを見ていると、宇部市民は順応しやすいので、徹底的にやっていただきたい。最後の決めつけは、多くごみを出した人にはお金をもらう、頑張った人には褒美をあげるなど、そこまでやればいいのでは。 また、会長も言っていましたが、こうしましたという、来年結果を出してほしいですね。
会長	時間が限られているので、先に手を挙げられていた委員さんが発表した後、今日まだ発言をされていない方がいるので、一言ずついただくという流れでいきたいと思います。
委員	言いたいことは、大体出たのですが、汚れたプラスチックごみのことで、汚れたものは月水金へというのを市が必死に言われたので、癖がついて、すぐ燃やせるごみへ入れるという人が多い気がします。ちょっと洗剤をつけて洗えば、プラに出せるものを燃やせるごみに入れる。今度は、市の方がプラは洗って出すという、逆のアピールをしていただくとよいのではないかと思います。
会長	言われた意見に対して、何をしたのか、何をしないのかというのをまとめて、それに対する答えを出してほしい。次回、メンバーは変わっているのだけれども、何を話してどうしたのかというのをぜひ出してください。 では、順に一言お願いします。

委員	<p>小学校で勤務しているのですが、小学生は4年生でごみの学習をしています。市の方も頑張ってくださいと、小学生向けの学習メニューを組んでいただいています。市民がすごく頑張っているというのもあると思います。事業系ごみは、どのような業者のごみが入っているのか、バイオマスにしても、そういうところからの回収の目処はたっているのか、というのが気になります。以上です。</p>
委員	<p>私も、宇部市のごみの件なんかは、自分のお家でできるだけ水分を絞るなど、これからもがんばっていきます。ありがとうございました。</p>
委員	<p>市民意識の啓発ということで議論されていたと思うのですが、事業所、特に飲食店とか大型スーパーとか、そういうところのごみの分別というのは、商売というものがかかってくるので、意識的には低いかなと思います。そういった所への啓発というか、そういったところに注力していくのがいいかなと思います。</p>
委員	<p>直搬のごみが多いということで、私なりに考えたのですが、業者が多いと委託する人も多くなるということと、宇部市、山陽小野田市はちょっとおかしいなと思うのが、一般廃棄物の収集運搬の許認可を容易に出し過ぎ、周南市は私たちが許認可を取ろうとしても、規制がかかって取れません。</p> <p>それと、大型店舗の規制は、宇部市だけではできないかもしれないので、山口県で考えて規制していかないと、人口は減ってもごみは減らないという現象がでるのかなと思います。</p>
委員	<p>市の方で、一般廃棄物の資源化減量化計画書というのを数多く配布されたと思うのですが、現状としては、排出者である事業所は、自分の所でどのくらいごみが出ているのかというのを把握されていません。回収業者である私たち収集運搬業者に聞かれます。数字も全部入れてくださいという丸投げのところが9割くらいです。ご自分で廃棄物量を把握し書かれるところは、資源化にも協力的です。丸投げされるところは、分別にも非協力的なところが多く、指導することもあります。計画書を出してくださいと言われていたようですが、事業所の方である程度把握されて、その数字を記入してください、と言っていた方が減量化につながると思います。</p>
委員	<p>フジグラン宇部です。ごみは結構出ます。ただ先ほど言われたように、レジ袋の有料化に取り組んでいるところは少なく、フジでも半分以上が有料化できていないので、意識の高い地域だと思います。一番気になっているのは、廃棄ごみです。品切れをしないようにするので、どうしても廃棄はでます。企業努力として、リサイクル回収に協力していますので、そういう点では、フジで買われたものの回収という流れはしっかり地域に貢献しています。なかなかみなさんのご理解を得るのは難しいかと思いますが、努力して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>

委員	<p>市民と事業所で違うアプローチが有効なのかなと思いました。事業所は、自分がどのようなごみを出しているか知らないという意見も多くありましたので、情報提供、見える化に取り組んでいただけたらなど。(こういう産業だとこのようなごみがこのくらい出るのですが、あなたの事業所では、それをはるかに超えていますよ等) また、先ほどの学生の発表で出た、ごみの排出量にインパクトを与えている業種を中心に計画書を送っていただくとか、そういった工夫をしていただきたい。</p> <p>市民向けには、情報提供をたくさんやられていると思うのですが、みんなのメダルプロジェクトに参加したら回収量が増えたというように、目標が設定されたり、自分の行動が社会貢献につながると思うと、ハードルを越えやすくなると思います。水切りの件も、みんなが水切りを行うとお金が節約できるので、そのお金で新川まつりに芸能人を呼ぶとか、ときわ公園に花壇ができるとか、目標があるとトライするハードルが下がって、それがライフスタイルの定着化をはかるというか、きっかけを作ることが大切かなと思います。山口県では、エコ活動をするとスーパーなどで使える商品券がもらえるという活動をしておりまして、そういうようなことも考えていただき、きっかけを作ることが市民向けには大切だと思いました。</p>
委員	<p>みなさんの意見に同感と思っておりますが、私は4年間自治会長をやりまして、徹底的にやりました。うちの自治会はすばらしく、ごみ減量に協調性があります。しかし、さらに水切りもしろというのは、無理なんじゃないかなと思います。表を見ると、直搬ごみが増えていると、この直搬はなんなのかと、この事実を抑えたらどうかと思います。さらにプラごみを洗って出せという意見もありましたが、水道料金も上がるし、これ以上私の自治会では、持って帰り協力しなさいと言っても、もう限界だろうと思います。まだロスのあるところがあるのではないかと、そこを見つけるのがこの会合だと思っています。直搬のところをもう少しできるのではないかと、バイオマスは、市が回収してやるとなると到底採算がとれないのではないかと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。最後にみなさんの意見を聞いて、特に今まで事業系まで話がいけないということがありましたが、今日はかなりいい意見が聞けたと思います。ぜひ、次回ここで出た議事録に対して、どうした、どうしてないという回答書を作って下さい。</p> <p>では、本日の審議会を終了いたします。</p>